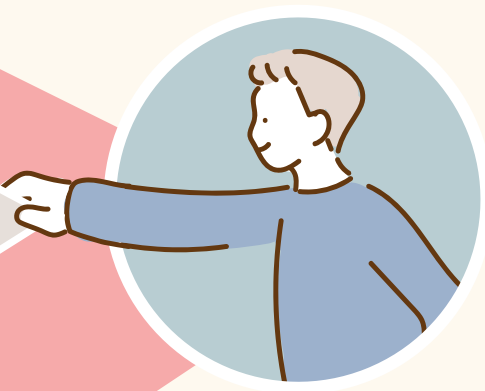
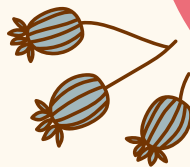


豊中市市民活動情報サロンニュースレター

タネ tane Vol. 4

何かが芽生える種になる

第4号は
豊中市市民活動
情報サロンの
これまでのあゆみ
を振り返ります。



市民活動情報サロン
開設の歴史

歴代スタッフと
市民活動情報サロン
をふりかえる

サロンを利用されてきた方への
一言インタビュー

市民公益活動支援センター案内
実施予告・実施報告

市民活動情報サロンは、2023 年 2 月より市民公益活動支援センターとしてパワーアップし庄内コラボセンターへ機能を移転することになりました。そこで、今号では市民活動情報サロンのこれまでを振り返りたいと思います。

市民活動情報サロン 開設の歴史



2001
平成 13 年

市民活動情報サロン
阪急豊中駅舎内
開設

2004
平成 16 年
↓

「市民公益活動推進条例」
施行

2013
平成 25 年
↓

とよなか市民公益活動協議体・
らっぷ
受託

2019
令和元年
↓

NPO 法人
とよなか ESD ネットワーク
受託

歴代スタッフと 市民活動情報サロンを ふりかえる

旧とよなか市民活動ネットきずな
坂田慶子 さん



●サロンをふりかえて
漢字 1 文字

知

●その理由

市民活動に関わる多くの人たちと、知り合い、知識を得、知恵を出し合う、その積み重ねの日々でした。「知」には、本質を知る、理解しあう、という意味もあり、まさに私にとっては「知」の場所だったという思いです。

●嬉しかったことや大変だったことをお聞かせください。

市の施設を NPO 法人が運営する、まだまだ試行錯誤が続いていた時期で「市とつるんです」とか「市職員のようにふるまってください」とか言われたりしました。どっちも違うでしょ！わかり合えず力不足を感じることもありましたが、何かあれば代表や副代表を交え協議しながら対応してきました。どうすれば市民活動が活性化し成果を上げていけるか、その方向性を示すこと、を常に考えながらの毎日でした。泰然として温かく見守ってくれた事務局長、「最後は私が責任取るから」と笑顔で励ましてくれた代表、立場の違いを越えて共に働いた市の人たち、そして、喜んで下さった市民や団体の方々、小さな場所でしたが、多くの出会いに感謝しています。

旧とよなか市民公益活動協議体・らっぷ
横山佳代子 さん



●サロンをふりかえて
漢字 1 文字

前

●その理由

とよなか市民公益活動協議体という、構成団体の特性を生かして市民活動の応援をするという形だったので、同じように市内で活動するひとりとして、団体のみなさんが前に向いて活動を進められるようにと心がけていました。

●嬉しかったことや大変だったことをお聞かせください。

受託期間中、サロンの拡張で開放的なスペースが増えました。そこで団体同士の交流が増えたことはもちろん、市民活動に縁のない方がふらっと入って来られてイベント参加につながったり相談をしてくれたりしました。「市民活動」や「サロン」の垣根が少しでも下がったようでうれしかったです。また、駅前広場で「市民活動ジャンプフェスタ」を国際交流センターやすてっぷ等の市内団体と協力して始めたり、豊中まつりにチャレンジブースとして出店したり、新事業を進めるときには制度等との調整が難しいこともあった気がしますが…今となっては、参加団体のみなさんとともにいい時間を過ごせたと思ひ返しています。

とよなか ESD ネットワーク
上村有里



●サロンをふりかえて
漢字 1 文字

新

●その理由

コロナ禍で何が正解かわからない状況の中でも、新たな一歩を踏み出そうとする団体や市民のみなさんにたくさん出会うことができました。集まることができない悔しさはありましたが、その中でできることは何か、団体の方々と共に常に考え続けた日々でした。

●嬉しかったことや大変だったことをお聞かせください。

駅の改札を出たらすぐという立地条件のもと、こんなことできる人がいたらいいなぁとスタッフで話していたら、その人が現れる！とか、この団体とつながってくれたらいいのに…と思ったときに、つながってほしい団体が立ち寄ってくださる…など、数々の偶然による出会いと協働が生まれた場所でした。誰でも気軽に寄れる場は、予想外の質問が投げかけられる場でもあり、我々の経験と判断が試される瞬間も多くありました。日々、何が起こるかわからない状況下で、行政と市民と我々とは学び合いながら運営できたことは、市民活動の新しい価値を見出せたように思います。

サロンを利用されてきた方への 一言インタビュー

あなたにとってサロンはどんな場所でしたか？



登録団体の方々

多くの市民の方の
相談にのれる
場でした。

参加者にとっても
駅チカで利便性が
よい場所でした。

多くの方から
直接お声が聴ける
場所でした。

スタッフが
いろいろな相談に
応じてくれました。

点と点とが繋がって
線から面へと広がる
場でした。

ショーウィンドーがあり
市民の方にも団体の
ことを知ってもらえる
貴重な場でした。

新聞を読んだり
ポスター見て、
情報を得る場です。

コミュニケーション
の場。



市民の方々

息抜き、
話し相手のいる
場所です。

講座に参加することで、
自分に必要な知識を
身に着けることが
できました。

new

市民公益活動支援センターが令和 5 年（2023 年）2 月にオープンします。

豊中市市民活動情報サロン（本町）は、機能を拡充し、市民公益活動支援センターとして、令和 5 年（2023 年）2 月に開館する庄内コラボセンター（庄内幸町）へ移転します。

【施設概要】

豊中市立市民公益活動支援センター（阪急庄内駅から約 800 m）

1 階には子育て支援センター、2 階には図書館、3 階には出張所や介護予防センター、4 階には公民館等が入居

延床面積 278.14 平方メートル（市民活動情報サロンは 106.08 平方メートル）

交流スペース 1（定員最大 33 人）、交流スペース 2（定員最大 31 人）があり、可動式パーテーションを外すと 1 つの大きなスペースで利用可能。

【実施事業】

①市民公益活動を推進するための事業

②団体間の協働・連携を推進するための事業

③地域自治組織や地縁型組織の活動を推進するための事業

④メールボックス及びロッカーの貸出、シェアオフィス事業

【運営受託候補者】

特定非営利活動法人とよなか ESD ネットワーク

市民公益活動支援センターの詳細は市ホームページ等で随時お知らせします。

【問合せ】豊中市市民協働部コミュニティ政策課

電話：06-6858-2041 ファクス：06-6846-6003

メール：npo@city.toyonaka.osaka.jp



実施予告

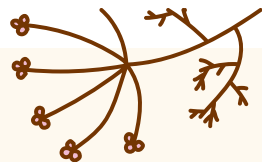
12/23 19:00-21:00 ちゃぶだい集会 vol.44

市民活動で社会は変えられるか？

コロナ禍によるニューノーマルの生活が始まって、間もなく2年。現行の制度や枠組みでは解決できない課題も浮き彫りにされてきました。これからの私たちの生活や社会にとって、市民活動はどのような存在になっていくのでしょうか？活動に身を置いている人も、ちょっと気になっている人も、ざっくばらんに話し合ってみませんか？



サロンのSNSを
ぜひチェックしてみてください♪



実施報告

これまでに開催した市民活動情報サロン主催事業の一部をご紹介します。

8/25 開催 ちゃぶだい集会 vol.40

まちづくり×ダンスの新しい可能性

「まちづくり×ダンス」とは、地域にこそ関与や関与の機会に育つべき活動と捉え、まちづくりとダンスの新しい可能性を探る。まちづくりとダンスの新しい可能性を探る。

2022.8.25[木]
19:00~20:30
オンライン開催
(※ZOOMを使用します)
参加費無料

申込開始: 8.5 (金) 10時~
お申し込み・お問合せ
T 06-6152-2212
FAX 06-6152-2213
MAIL: toyonakasalon@jcom.zaq.ne.jp

(一社) ダンストーク代表の千代その子さんから兵庫県豊岡市・城崎温泉で行っている取り組みのお話と、コミュニティダンスを体感できるワークをオンラインで行っていただきました。参加者からは「真剣に取り組んでいる姿勢に感動した」「その人の感性を表すことを重視されているコミュニティダンスは素晴らしいと思った」と感想が寄せられました。

9/17 開催 ちゃぶだい集会 vol.41

みんなのお仕事トーク!『働く』を考えよう

「まちづくり×ダンス」とは、地域にこそ関与や関与の機会に育つべき活動と捉え、まちづくりとダンスの新しい可能性を探る。まちづくりとダンスの新しい可能性を探る。

みんなのお仕事トーク!
『働く』を考えよう
ゲストスピーカーの村田さんより、最近の経済・雇用市場の動向についてお話を伺った後、みんなで『働く』をテーマに話し合います!

日時 9月17日(土) 19:00~20:30
場所 豊中市市民活動情報サロン(豊中駅北改札口出てすぐ)
参加費 無料 定員 8名
申込方法 下記問合せ先にてお申し込みください
申込開始日 9月6日(火)

ゲストスピーカー: 村田一成さん
新卒で大手企業に就職した経験から、現在の働き方を中心に、新卒採用の状況や就職イベントの現状に迫る。退職後、副業やフリーランスとして働く選択肢の現状やメリット・デメリット、生活費の確保、会社員生活のメリット・デメリットなどについてお話を伺います。

問合せ先
豊中市市民活動情報サロン
(運営団体: 特定非営利活動法人とよなかESDネットワーク)
(TEL) 06-6152-2212
(FAX) 06-6152-2213
(MAIL) toyonakasalon@jcom.zaq.ne.jp

株式会社 Workaholic の村田さんをゲストスピーカーにお招きしてお話を聞いたのち、みんなで「なぜ働くのだろうか?」などのテーマで話し合いました。20代や30代の参加者も多く、話し合いは和やかな雰囲気で行われました。開催後のアンケートには、普段関わりの少ない他業種の人たちの話を聞いて、自分の考えを深めるきっかけになったとの声も寄せられました。

市民活動情報サロンとは?

市民ボランティアや、市民公益活動団体、自治会等の地域活動団体、また、これから活動をはじめようとする人やグループを応援する施設です。NPO法人とよなかESDネットワーク(TEN)が豊中市市民協働部コミュニティ政策課と協働しながら運営しています。

サロンでできること

- 情報収集・・・市民活動に関するチラシやパンフレット、書籍があります。
- 相談・・・これから活動したいという相談や、活動中での困りごとなどを相談していただけます。
- 交流スペースの利用・・・打ち合わせやちょっとした作業などに使えます。
- 学ぶ・・・ちゃぶだい集会などで日々の生活の中で気になることなどについて話し合い学びます。



編集後記

tane を読んでいただいてありがとうございます。少しでも何か気づきなどの種になることができていたら幸いです。長い間サロンもご利用頂きありがとうございました。またお会いしましょう!

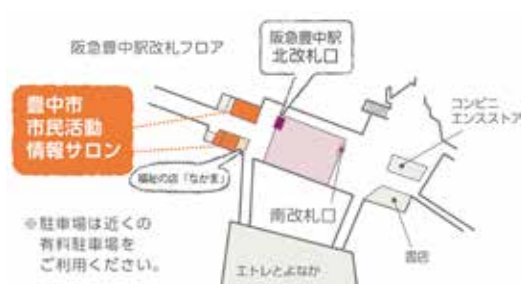
豊中市市民活動情報サロン

〒560-0021 豊中市本町1丁目1番1号
(阪急宝塚線・豊中駅北改札口出てすぐ)

TEL: 06-6152-2212 FAX: 06-6152-2213
MAIL: toyonakasalon@jcom.zaq.ne.jp

【開館時間】午前10時から午後7時まで
(水曜・金曜は午後9時まで)

【休館日】日曜・月曜・祝日・
年末年始(12月29日~1月3日)



tane (タネ)

豊中市市民活動情報サロン
ニュースレター Vol.4

発行: 豊中市市民活動情報サロン
編集: 豊中市市民活動情報サロン
(運営受託団体: 特定非営利活動法人とよなかESDネットワーク)
デザイン: 大西未生
発行日: 2022年12月
発行部数: 2,500部

